



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R6年6月（一般用）

『「働き手不足1100万人」の衝撃 ～2040年の日本が直面する危機と“希望”』

労働問題

古屋星斗・リクルートワークス研究所【著】/プレジデント社(2024/1)



宅配便が届かない、救急車を呼んでも来ない…。生活維持サービス消滅の前に何をすべきか？「働き手不足」に対する4つの打開策を紹介し、労働供給制約の中でも持続可能で豊かな社会を実現するための方向性と解決策を提案する、希望の書！

『ナチュラル・リーダーシップの教科書』

ビジネス

小日向素子【著】/あさ出版(2024/2)



思い込みや理屈に縛られず、自分の五感を信じて周囲と接するリーダーの在り方、「ナチュラル・リーダーシップ」がグローバル企業で注目されている。日本でも有名企業が研修で取り入れている「ナチュラル・リーダーシップ」を修得できる、日本初の書！

『子どもへの性加害 ～性的グルーミングとは何か』

性犯罪

斉藤章佳【著】/幻冬舎(2023/11)



子どもと信頼関係を築き、巧みに接触する性的グルーミング。加害者は何を考え、どのような手口で迫るのか？子どもの異変やSOSを察知するには？性犯罪者治療の専門家が「子どもを守るために大人や社会がすべきこと」を提言する。

『世にもあいまいなことばの秘密』

言語

川添愛【著】/筑摩書房(2023/12)



「政府の女性を応援する政策」「5日、8日の午後が空いています」「はい、結構です」など、読み方次第で意味が変わってしまうために、勘違いや争いを生み出してしまう「ことばのあいまいさ」。その特徴を分析し、ことばの不思議に迫る！

『なぜ東大は男だらけなのか』

ジェンダー

矢口祐人【著】/集英社(2024/2)



2023年、東大生の男女比は8：2。現役副学長でもある著者が「女性のいない東大」を改革するべく声を上げる！東大の知られざるジェンダー史を明らかにし、自身の経験や反省も踏まえて、日本の大学や社会のあり方を問い直す、覚悟の書！

『「自分の意見」ってどうつくるの？ ～哲学講師が教える超ロジカル思考術』

哲学

平山美希【著】/WAVE出版(2023/4)



「自分の意見」を持つことは、簡単そうで難しい。ディベート等で意見を述べる経験が少ないまま社会人になり、戸惑う人も多いのでは？考える手がかりをつかみ、独自の視点で意見を組み立てる「フランス式思考法」を紹介する、頼れる1冊。

『大学的群馬ガイド～こだわりの歩き方』

郷土

高崎経済大学地域政策学部観光政策学科【編】/昭和堂(2024/3)



「魅力度ランキング」や「ブランド調査」では見えてこない「群馬県の奥深さと魅力」を、観光学を軸に「自然・地理」「歴史・文化」「人・生活」の3部構成から紹介。高経大地域政策学部観光政策学科が編集する、地元群馬県のこだわりの情報が満載の1冊！

『書いてはいけない～日本経済墜落の真相』

話題

森永卓郎【著】/三五館シンシャ(2024/3)



「財務省のカルト的財政緊縮主義」「日本航空123便の墜落事件」「芸能事務所の性加害」。4半世紀に及ぶメディア活動で、著者が見聞きしてきた“3つのタブー”に挑み、その背景に存在する真相を描き出す。前著『ザイム真理教』に続く衝撃作！

『子どもが本当に思っていること～児童精神科医が「子育てが不安なお母さん」に伝えたい』

子育て

精神科医さわ【著】/日本実業出版社(2024/4)



発達障害の不登校児を育てるシングルマザーであり、児童精神科医としても活躍する著者が集めた「子どもの心の声たち」。「大丈夫だよ。怒らなくても伝わるよ」「お父さん、お母さん、ただそばで笑っててくれるだけでいいよ」と子育てを優しく応援する。

トピックス：「若者」に関する書籍

新着

『ルポ海外出稼ぎ
～「安いニッポン」から「稼げる国」を
目指す若者たち』

NHK「クローズアップ現代」取材班【著】/大和書房
(2024/3)



「安い日本」を捨て「稼げる海外」へと向かう、日本に見切りをつけ始めた若者たちの本音を追う！「NHKクローズアップ現代」で放映され、大きな話題となった特集の完全書籍化。

新着

『静かに退職する若者たち
～部下との1 on 1の前に知っておいて
ほしいこと』

金間大介【著】/PHP研究所 (2024/1)



何も言わずに辞めていく若者たち。なぜ、うまくいかないのか？1 on 1を核とした世代間コミュニケーションの問題点を切り口に、今の若者像を分析。「わかり合えない職場」を変える処方箋！

『Z世代・さとり世代の上司になったら読む本～引っ張ってもついてこない時代の「個性」に寄り添うマネジメント』

竹内義晴【著】/翔泳社



バブル崩壊後に生まれた「さとり世代」「Z世代」。彼らと中堅世代との間には、労働に対する価値観に大きな差があるという。そのギャップを理解し、より良い関係性を築くための1冊！

『今どきの若者のリアル』

山田昌弘【編著】/PHP研究所 (2023/11)



自らの印象で語られがちなZ世代を、研究者やノンフィクション作家はどう捉えるのか？マッチングアプリの功罪、複雑な承認欲求、変容する消費行動等、Z世代の思考を知り、日本の今と将来を考える。

○議会図書室利用時間：平日午前8時30分～午後5時15分 ※土・日・祝・年末年始は休室
ぜひ、お気軽にお越し下さい♪

昨年度 人気のあった図書 BEST4冊

『むかしむかし あるところにウェルビーイングがありました
～日本文化から読み解く幸せのカタチ』

石川善樹・吉田尚記【著】/KADOKAWA (2022/11)



古事記、アイドル、和歌などの日本文化は幸せになる秘訣の宝庫だった！予防医学研究者とニッポン放送アナウンサーが、日本に合った「ウェルビーイング」の本質にゆるゆると迫る！

『バナナの魅力を100文字で伝えてください～誰でも身につく36の伝わる法則』

柿内尚文【著】/かんき出版 (2021/12)



人前に出ることが苦手な著者による、「話す」「伝える」ストレスから解放され、前向きになれる実用書。会話・プレゼン・SNS・企画・面接などで、すぐに使えるノウハウが満載の話題の1冊！

『科学でかなえる世界文明』

ライアン＝ノース【著】/早川書房 (2023/7)



アメリカンコミックの原作者でもある著者が、我々が「正当」だと思い込んでいる世界文明の「弱点」を見つけ、科学的視点から「世界征服する方法」を伝授。世界をより良くするための陰謀論！？

『お探し物は図書室まで』

青山美智子【著】/ポプラ社 (2023/2)



人生に悩む人々が立ち寄る町の小さな図書室。彼らの背中を、無愛想だが聞き上手な司書さんが、意外な本のセレクトと可愛い付録で後押しする。明日への活力と希望が満ちていくハートウォーミング小説。